

みみタロウ

日本語版 ☆120号 2016年10月

しがけんこくさいきょうかいほらんていあぐるーぶ「みみタロウ」
 滋賀県国際協会ボランティアグループ「みみタロウ」
 おおつちはまびあざおうな
 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2F
 Tel/Fax : 077-523-5646
 E-mail : mimitaro@s-i-a.or.jp
 URL : http://www.s-i-a.or.jp
 ■ : https://www.facebook.com/siabiwako

悩みはひとりで抱えないで

こんかい たろう だい かいがいこくじん ほんごす びーちたいかい さいゆうしゅうしょ かがや
 今回のみみタロウは、第12回外国人による日本語スピーチ大会で最優秀賞に輝かれた入倉
 ばんやたー やす しさじめう こそだ しこと はなし うが
 パンヤターさん(野洲市在住)に子育てやお仕事のお話を伺いました。



8年前、タイの大学を卒業後、結婚して滋賀にやってきました。日本は小さいときから「一休さん」や「ドラえもん」のアニメで親しんだあこがれの国。言葉は全くできませんでしたが、無人販売所でもお金も支払ったり、ゴミを持ち帰ったりする日本人の行動に感心し、来日できることを嬉しく思いました。ところが日常生活では、何もわからず、他の人と違う自分自身に自信が持てず、一人では出かけるのも怖いような有り様。しかも外国人のいない地域に住んでいたこともあって、うまく地域に溶け込めず、寂しくて涙が出ることもありました。夫には沢山話を聞いてもらって、文化の違いも理解してくれますが、日中は私一人です。子どもが生まれてからは益々出かけることもままならなくなり、気持ちも重くなっています。子どもの通院や育児などで身も心も疲れはてていた頃、通い始めた日本語教室の先生に自分の悩みを話すと、市役所で相談するよう教えていただきました。そしてそこで話を聞いてもらうと、思い詰めていた気持ちがすっかり楽になりました。その後の家の転居したり、日本語の勉強をして幼稚園や職場のことを理解できるようになったことで、生活の歯車がうまく回るようになりました。今は、子どもも私も沢山の友達に囲まれ、楽しく暮らしています。自分のことを話すのは勇気がいることですが、皆さんも困り事がある時には、市役所や国際協会などに相談してみてくださいね。

日本では、母親がほとんど一人で子育てをしなければならず、お母さんは大変です。子どもの虐待など悲しい事件を耳にすると、当事者の気持ちも分かる気がします。そして、少しでも何かできればと、私は自分からどんどん人に声をかけるようになりました。自分のことをわかってもらいたいのはどの人もみな同じ。でも自分から声をかけるのは難しいし、外国人はなおさらです。もし挨拶もしない人がいたら、それはきっと自信がないから。どこの國の人でも「どこから来たの?」と話しかけると、たちまち笑顔になって、友達になれるんですよ。

子育てを大切にしたいので、パートで介護の仕事をしています。日本語もあまりできず、介護についての知識も全くなかったのですが、ハローワークの勧めでこの仕事を始めました。最初に働いたグループホームでは、普通の家で数人の認知症のお年寄りのケアの仕事をしました。お年寄りは「どこから来たの」「タイのことを教えて」など私のことをいろいろ聞いてくれます。でもすぐ忘れられるので、何度もお話をしたりして、コミュニケーションがとても楽しかったです。引っ越しを機に、次は介護老人保健施設で働きました。そこでの仕事は、寝たきりのお年寄りの身体や食事のケアが中心でした。重症の方々が相手なので責任も重く、精神的にも身体的にも厳しい職場でしたが、周りのスタッフに助けられながら、多くを学びました。どの職場でも、雇用面でも、スタッフやお年寄りからも外国人だからという差別ではなく、むしろ喜んでいただけたように思います。そして人相手の仕事は難しい面もありますが、やはり楽しくて、自分に合っていると思っています。私は介護の仕事以外にも、タイマッサージの技術を活かして、マッサージもしています。そしてこの8月、夢が叶って、自宅でタイマッサージのお店を開きました!家庭と仕事とバランスを取りながら、これからもいろんなことにチャレンジしていきたいですね。

近頃は、四季折々に咲く花を見たり、庭にタイ野菜を栽培したりするのが大好きです。そして時間を見つけて子供達と一緒に遊んだり、母語教育もしています。子どもたちはタイ語を話すのを恥ずかしがっていた時期もありましたが、今は頑張って勉強しています。それでももう一つ大切にしているのがタイ仏教の瞑想です。小さい頃、意味もわからないまま親しんだ仏教ですが、最近、お坊さんのお話を聞いたり、瞑想の時間を持つようになりました。就寝前には夫は日本語で、私はタイ語でお経を唱えるんですよ。お坊さんには「今」をしっかりと生きることが良い明日を作るということを教えていただきました。その言葉を大切に、良い心持ちで、充実した今を積み重ねていきたいと思います。